

仕様書

1 調達物品名及び数量 全自動尿検査装置 一式

(1) 尿検査測定装置 一式

(2) 全自動尿分取装置 一式

2 性能、機能に関する要件

(1) 全自動尿分取装置は、以下の要件を満たすこと。

- ① 尿分取の処理能力は、180 検体/時間 (1:1 分取)、150 検体/時間 (1:2 分取) 以上であること。
- ② 搭載可能なスピッツは、2 種類以上であること。
- ③ スピッツ管のストック数は、1 ストッカ 100 本以上であること。
- ④ ハルンカップの攪拌機能は、ハルンカップ揺動による攪拌方式を有すること。
- ⑤ 検体吸引に使用する消耗品はディスクチップであること。
- ⑥ 分取後の仕分けは、最大 5 種類の検査項目に対応可能であること。
- ⑦ 採血管への自動貼りプリンタと手貼り用ラベルプリンタがそれぞれ搭載されていること。
- ⑧ ラベルの印字方法は、ダイレクトサーマル方式であること。
- ⑨ RFID ラベルへの書き込み及び印字も可能であること。
- ⑩ 電源電圧は、100V 以内であること。
- ⑪ 最大消費電力が 1200VA 以内であること。
- ⑫ 本体サイズは、860mm(W)×1030mm(D)×1500mm(H) 以内であること。

(2) 全自動尿分析装置は、以下の要件を満たすこと

- ① 尿中のブドウ糖、蛋白質、潜血、白血球、ウロビリノーゲン、ビリルビン、ケトン体、亜硝酸塩、アルブミン、クレアチニン、比重、p h、色調、混濁で測定ができること。
- ② 200 テスト/時間以上の処理能力であること。
- ③ 測定時は、検体バーコードを読み取り、尿検体の入ったスピッツ管を装置にセットするだけで測定可能であること。
- ④ 2 種類以上の試験紙を装置に同時設置し、検査依頼に応じて選択可能であること。
- ⑤ 試験紙を 400 検体以上一度に搭載でき、測定中でも試験紙の補充が可能なたため、多検体連続測定にも対応できること。
- ⑥ 試験紙は、ブランクパッドが採用されており、着色尿の影響を受けにくいこと。
- ⑦ 検体攪拌機能を有し、検体の沈降影響を低減した測定結果を得ることが出来ること。
- ⑧ 測定時の環境温度の影響を補正する機能を有し、誤差要因を軽減することができること(ブドウ糖、潜血、ケトン体、白血球、クレアチニンの 5 項目)。

- ⑨ 肉眼的血尿のような高濃度ヘモグロビン検体を測定した後は、自動でノズル洗浄を強化し、キャリーオーバーを防止可能なこと。
- ⑩ 微量 Alb と Pro は異なる測定原理の試験紙を有していること。
- ⑪ 尿カップのまま緊急検体測定が可能のため、スピッツ管へ分注する必要がなく、緊急時や夜間帯などには有用であること。
- ⑫ 尿沈渣分析装置と併せて 1 台のシステムで管理運用可能な部門システム（一般検査データ管理システム）を自社でも保有し、効率のよい業務フローを構築することが可能であること。
- ⑬ 全自動尿中有形成分分析装置と共通のラックが使用でき、業務の効率化が図れること。

(3) その他

- ① 院内のシステムと接続し、連携すること。
- ② 稼働に当たり、落札業者の負担にて、導入病院に操作説明員を派遣し、担当医師及び担当技師への教育訓練を行うこと。また、その後必要に応じて派遣または電話の対応等の体制を確保すること。
- ③ 実施方法については、作業手順書、行程表等を事前に提出し、担当職員と十分協議の上、実施すること。
- ④ 受注者は、作業するにあたり、病院施設等での作業環境を十分理解し、患者等に迷惑をかけないように努め、担当職員と協議すること。